

【報道関係各位】

2012年8月9日  
除去力向上委員会

## 『除去力向上委員会』発足 Supported by FANCL アンチエイジングの新常識は、 老化物質を体の外に捨てる「除去力」

『除去力向上委員会』は、40代以降の女性に向け、「除去力」向上を通じて“いつまでも健康で若々しく美しい体作り(=老けない体)”を提案するために、2012年8月9日(木)に発足いたします。

『除去力向上委員会』は、株式会社ファンケルの協力のもと、アンチエイジング分野における有識者の方々によって、アンチエイジングの新しい考え方である「除去力」の向上を啓発して参ります。

### ■「アンチエイジング」に関する正しい情報提供と、理解促進を主とした取り組み

女性の社会進出や寿命の伸長などを背景に、健康で美しく年齢を重ねたいという「アンチエイジング」への関心も年々高まり、最近では20～30代向けの媒体でも「アンチエイジング」という言葉を多く目にします。一方で、情報が溢れ過ぎている今、老化に関する正しい理解と知識に乏しく、自分にとって最適なエイジング対策の方法が分からず、効果効能に十分な満足を感じられない人も多いのが現状です。

『除去力向上委員会』は、「除去力」の向上を通じて、老化に負けないライフスタイルを実現して日々健康で美しく元気に過ごせる生活者が1人でも増えることを願い、公式サイト(<http://www.jokyoryoku.jp>)より「アンチエイジング」に関する正しい情報を提供し、理解を深めていきます。

### ■アンチエイジングの新常識

#### 大切なのは、老化物質を体の外に捨てる=「除去力」

近年、代表的なエイジング対策として「抗酸化」が挙げられますが、「抗酸化」はあくまでも体の酸化を“予防すること”にすぎません。また、年齢を重ねることで体が本来持っている抗酸化機能が落ち、知らず知らずのうちに老化原因の1つでもある老化物質<sup>1</sup>が体内に蓄積してしまいます。老化物質は、加齢や様々な生活習慣により蓄積し、生体の機能低下に直結します。老化物質は女性にとって大きな関心事である、しわ、たるみ、くすみといった肌の老化に関わること、また種々の疾病にも関わることで知られています。

「除去力」の低下は、老化(=老け)につながる重要な要因の一つでありながらも、エイジング対策としては見落とされがちでした。「除去力」を高めていくことは、エイジング対策の根本的なケアの一つであり、溜まってしまった老化物質を“捨てる”ことが、美容・健康の両面において大変重要であると考えます。

そこで、『除去力向上委員会』では、アンチエイジングの新常識と考える老化物質を体の外に捨てる=「除去力」の大切さを発信します。

<sup>1</sup>ここでいう老化物質とは活性酸素により酸化された生体の主要な構成成分(たんぱく質、脂質、DNA等)が分解・修復・除去されずに生体に蓄積したものを指しています。

## 『除去力向上委員会』概要

■正式名称：『除去力向上委員会』

■設立目的：

- ・“いつまでも健康で若々しく美しい体作り(=老けない体)”を目指すことを目的に、アンチエイジングに関する正しい情報を生活者に提供し、理解と知識を深める
- ・老化の根本原因の1つである体内に蓄積する「老化物質」に関する理解促進
- ・「老化物質」を体の外に捨てる能力＝「除去力」という新しいアンチエイジングに対する理解促進
- ・アンチエイジングを目指す人たちの「除去力」の向上をサポート

■活動内容：

1. 生活者に向けたアンチエイジングに関する正しい情報の提供  
特に、老化原因の1つである体内に蓄積する「老化物質」に関する理解促進を図る
2. 「老化物質」の除去をサポートする「大豆サポニンB」に関する正しい理解と情報発信
3. 体の酸化を防ぐのみならず、「除去力」を向上させるライフスタイルの提案

■設立年月日： 2012年8月9日(木)

■サポート企業：株式会社ファンケル

■情報発信サイト：『除去力向上委員会 ～老化物質を捨てて、一生老けないからだへ～』

URL: <http://www.jokyoryoku.jp>



<サイトコンテンツ>

- 老けないからだの新常識 「老化物質」と「除去力」  
老化とはどういうことなのか、「除去力」向上という老けないからだの新常識について解説。
- 除去力アップの方法 大豆サポニンBのパワー  
「老化物質」の中でも“たんぱく質の老化”に注目！  
「除去力」を高める大豆サポニンの力を解説。
- アンチエイジング大調査  
現代女性の意識・実態の最新データを掲載。
- 除去力が向上する生活(予定)
- 除去力チェック(予定)

構成メンバー



米井先生  
「除去力」について解説！



山口先生  
「大豆サポニンBのパワー」について解説。



管理栄養士/  
料理研究家  
牧野先生提案  
「除去力」向上レシピ  
(近日登場予定！)

## 構成メンバープロフィール



同志社大学大学院生命医科学研究科 アンチエイジングリサーチセンター 教授  
米井 嘉一 先生

同志社大学大学院生命医科学研究科(京田辺市)教授として、研究に尽力するほか、抗加齢医学を日本に紹介。

2005 年:日本初の抗加齢医学の研究講座である同志社大学アンチエイジングリサーチセンター教授に就任。

2008 年:同志社大学生命医科学部教授に就任すると共にアンチエイジングリサーチセンター教授も兼任。

最近の研究テーマは老化の危険因子と糖化ストレス。2011 年に開設された同志社大学糖化ストレス研究センターにおいて糖化ストレスマーカーの開発や抗糖化素材の開発に注力している。

主な著書: 「抗加齢医学入門」(慶應義塾大学出版会)  
「抗加齢医療 その最前線の実際」(新興医学出版)  
「アンチエイジングのすすめ」(青春出版社)  
「いつも元気な人の 100 の習慣」(KK ベストセラーズ)



ファンケル総合研究所 副所長  
横浜市立大学 客員教授/金城学院大学 薬学部 客員教授  
農学博士 獣医師  
山口 宏二 先生

ファンケル総合研究所にて機能性食品の研究・開発に携わる。

老化物質の除去に有効な大豆サポニンBもファンケル総合研究所の研究から生まれた独自のサプリメント素材である。

また金城学院大学薬学部ではサプリメント開発に関する教育、横浜市立大学では分子細胞生物学客員教授として翻訳後修飾プロテオミクス医療研究拠点の形成に参画している。サプリメントアドバイザー認定機構の認定教育委員も務める。

主な著書(分筆): 「ヘルスフード科学概論」(成山堂書店)  
「サプリメント健康バイブル」(小学館)  
「アニマルヒストリー」(滋慶教育科学研究所)  
「サプリメントアドバイザー必携」第1-2版(薬事日報社)



有限会社 スタジオ食(くう)代表/管理栄養士/料理研究家  
牧野 直子 先生

女子栄養大学卒。卒業後、株式会社ダイエットコミュニケーションズにて就業後、フリーランスとして活躍。その後、有限会社スタジオ食(くう)設立。

日本肥満学会会員、日本食育学会会員・評議員、女子栄養大学生涯学習講師。特に、子どもから大人まで、様々な年齢層に応じた講演は、好評を博している。

ダイエットやメタボリックシンドローム対策向けのレシピも分かりやすく教授する。レシピ提案、料理制作、原稿執筆、料理教室、講演、メディア出演などに加え、保健センター、小児科での栄養相談も 10 年以上継続中。

### 【本件に関するお問い合わせ】

『除去力向上委員会』広報事務局 (ブルーカレント・ジャパン株式会社内) 担当:大津、芳賀、菅原

Tel:03-6204-4141 Fax:03-6204-4142

E-mail:[tokuko.ohtsu@bluecurrentgroup.com](mailto:tokuko.ohtsu@bluecurrentgroup.com) [kimishige.haga@bluecurrentgroup.com](mailto:kimishige.haga@bluecurrentgroup.com)

[mayuko.sugawara@bluecurrentgroup.com](mailto:mayuko.sugawara@bluecurrentgroup.com)